

レッド ファイアーズ 鷹巣 Red Fires 女子ミニバス全県優勝 東北大会出場



ミニバスケットボールでは、8月1日、2日に秋田市CNAアリーナで行われた第32回県ミニバスケットボール夏季女子大会でラスト1秒での逆転勝利など接戦を勝ち抜き、初優勝を飾った鷹巣Red Fires（鷹巣小学校の子どもたちで構成）の選手らがコーチの出川修さんとともに教育委員会に優勝の報告に訪れました。東北大会ではベスト8のがんばりをみせました。

北秋田っ子の活躍光る！

5月から8月までに行われた各種競技大会において、北秋田市の子どもたちが奮闘し、好成績を収め、上位の東北大会や全国大会へ出場し、その喜びの報告に訪れました。今回はその一部を紹介いたします。

秋田北シニア東北大会優勝報告 秋田県勢初めての全国大会出場



野球では、6月23日から7月7日まで行われたリトルシニア野球東北大会（宮城県）で強豪に競り勝ち初優勝を果たした

秋田北リトルシニアチームの選手、鈴木康介さん（合川中3年）と清水香潤さん（合川中3年）らが優勝を報告しました。全国大会では、残念ながら2回戦敗退となりましたが、初出場ながらも鈴木選手が3塁打、清水選手がヒットを放つなどの堂々とした戦いぶりをみせました。

相撲では、5月から7月までに行われた「わんぱく相撲秋田ブロック大会」「豪風杯第46回全県学童相撲大会」「第32回全日本小学生相撲優勝大会秋田県予選会」で入賞し、全国・東北大会に出場する市内の児童8人（前田小、鷹巣小）と若松一幸監督、三沢靖彦コーチが市役所を訪れました。

東北大会では前田小が第3位、全国大会では庄司葵選手（前田小5年）が3回戦に駒をすすめるなど全力でぶつかって奮闘しました。



森吉ジュニアソフトテニスクラブ 全県大会優勝、秋田県勢初全日本入賞

ソフトテニスでは、5月25日に行われた全県小学生ソフトテニス選手権大会（大館市）で全県優勝した森吉ジュニアソフトテニスクラブの杉渕和稀さんと中嶋怜奈さん（ともに米内沢小6年）、同クラブの代表である近藤英之さんが市役所を訪れました。両選手はダブルスで出場、東日本大会で団体として秋田県勢初の第3位、7月25日から28日まで栃木県で行われた第36回全日本小学生ソフトテニス選手権大会においても、団体・個人ともに9位入賞の秋田県女子としては初の大活躍をしました。

小学生相撲 東北3位、全国出場



新たな森林管理システム

森林資源の適切な管理と林業の成長産業化を推進するため、新たな森林経営管理制度を定めた「森林経営管理法」が昨年度制定され、市町村が主体となって森林管理を行う「新たな森林管理システム」がスタートしました。

この制度では、森林所有者が適切な時期に伐採や造林、保育を行う責務が明確化されるとともに、森林所有者自らが適切な森林管理を行えない場合は、市が仲介役となり、所有者から経営管理の委託を受けて森林を集約し、意欲と能力のある森林事業体に経営を委ねる一方、林業経営に適さない森林については、森林環境譲与税を活用しながら、市町村が森林管理を行います。

制度導入により期待される効果

これまで放置されていた森林が、受託した森林経営者により集約化され、森林経営の規模拡大や雇用

の活性化に繋がる様々な効果が期待されます。また、森林が適切に管理されることにより、土砂災害の防止や二酸化炭素吸収による地球温暖化防止など、森林の持つ多面的機能の発揮にも繋がります。

今後の進め方

市では、新たな森林管理システムのスタートに伴い、長期間、間伐等が行われておらず、管理されていない人工林と、その所有者を調査する準備を進めています。今後は、準備が整った地域から順次、森林所有者へ経営管理の意向調査を行います。意向調査の結果を踏まえ、森林所有者自らが森林の経営管理権を受託し、意欲と能力のある林業経営者へ再委託を進めていきます。



問合せ 農林課林業振興係
☎ 625517

新たな森林管理システムがスタートしました

意向調査の実施について

今後の適正な森林管理につなげていくため、森林所有者に意向調査を実施します。

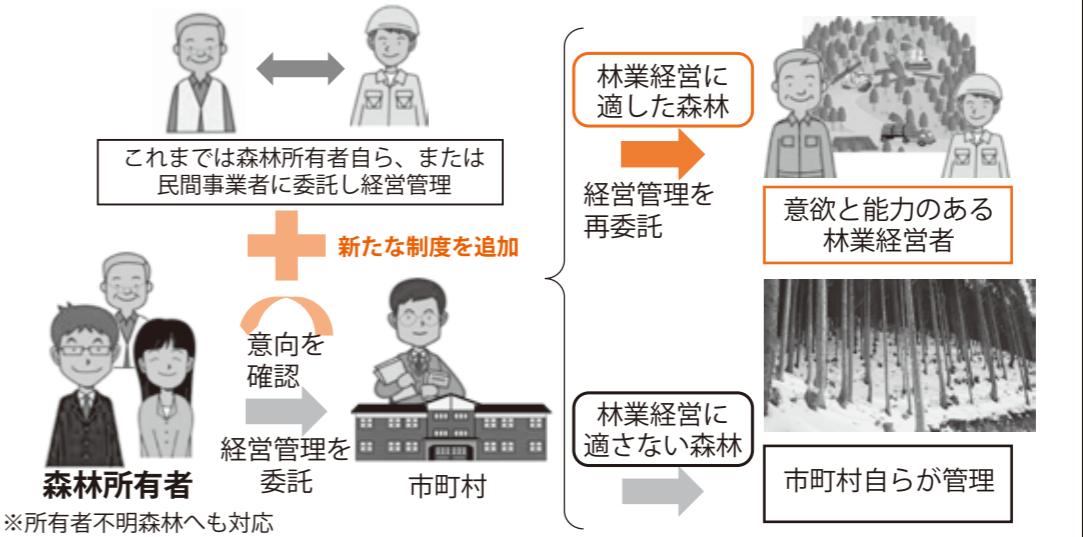
意向調査は12月以降に実施しますが、今年度は一部地域のみ行います。なお、全地域の調査が完了するまでに15年程度を要する見込みです。

お手元に調査表が届きましたら、皆様のご理解とご協力をお願いします。

来年度以降も順次実施していく予定です。また、来年度以降も順次実施していく予定です。

経営管理が行われていない森林について

市町村が仲介役となり森林所有者と担い手をつなぐシステムを構築



新たな森林管理システムの概要